



第42期 中間事業報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



小松ウオール
KOMATSU WALL

[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良いものを、より安く供給します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限らない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽くします。



第三工場



品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムをもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、株主・取引先・社員との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 利益配分に関する基本方針

利益配分に関する基本的な考え方は、収益状況に対応した上で、株主還元の充実を図り、配当性向30%の達成を目標とするとともに、その一方で企業体質の強化、および業容の拡大に備えて内部留保を充実することも目標としております。この内部留保につきましても、業界内部における競争激化に対処し、コスト競争力を高めるための設備投資等の資金需要に備えるためであり、将来的には収益の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。

また、株主優待制度を設け、3月末日現在1単元以上保有の株主様に対しては当社オリジナルデザイン図書カードを、9月末日現在1単元以上保有の株主様に対しては当社オリジナルデザインQUOカードを贈呈する制度を実施しております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上および総資産経常利益率10%以上であります。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、連結・個別ともに継続的に達成できる体質を目指しております。具体的には、徹底した合理化、原価低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。また、利益増とともに総資産の圧縮を目指し、借入金返済、支払手形廃止、原材料、製品在庫等棚卸資産の圧縮等を実施してまいりました。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績および株主価値の向上を図ってまいりたいと存じます。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、公共投資の減少傾向が定着し、受注競争、価格競争が継続するものと考えられます。このような状況下においては、市場占有率のアップと間仕切関連製品であるドア市場への本格的な進出および厳しい価格競争に耐えられるコスト競争力が不可欠であり、当社は、着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下の中期経営計画を策定、実施してまいります。

- ① 営業力増強と販売網拡充を図るため、首都圏営業力強化として東京都内および近畿地区に営業拠点を新設、本年4月1日より八王子営業所、滋賀営業所を設置、営業開始しております。
- ② 当社事業に係わるシステム開発業務および保守業務の経営効率化を図るため、当社100%子会社の小松ウォールシステム開発株式会社を本年4月1日付にて吸収合併し、同日、情報システム部を新設いたしました。
- ③ 平成19年9月10日より東京都葛西臨海地区に関東物流センターを移転し、稼動しております。今後の売上増大を踏まえて関東一円の物流、施工の効率化を図ってまいります。
- ④ 生産体制の充実を図り、生産性向上および協力工場を含めた生産ネットワークを強化してまいります。
- ⑤ 今後も継続する高齢化社会に対応した製品、環境にやさしい製品を戦略製品と位置付け、新製品開発に積極的に取り組んでまいります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も高い収益を維持しながら業績拡大に努めてまいります。また、管理体制面では、内部統制の整備・運用を図るとともに、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

1. 経営成績

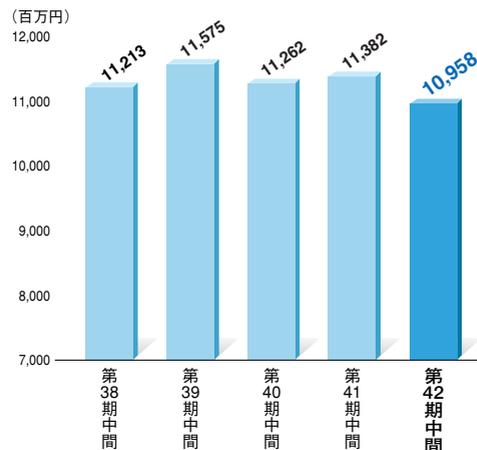
1 当中間連結期の概況

当中間連結期における国内経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念や株式・為替市場の変動に加え、原油をはじめとする原材料価格の高騰等から景気の先行きに対する不透明感が拡大してまいりました。

間仕切業界におきましては、改正建築基準法施行による建築確認の遅延問題は解消しつつあるものの、原材料価格の高騰、販売価格競争等、厳しい経営環境がいまだなお続いております。

このような情勢のなかで、当社グループは営業拠点の新設（八王子営業所、滋賀営業所）による販売力の増強を図るとともに、新規開拓専任者を増員配置し、新規優良顧客の開拓を推進し、受注獲得に取組んでまいりました結果、

■ 売上高



営業の概況

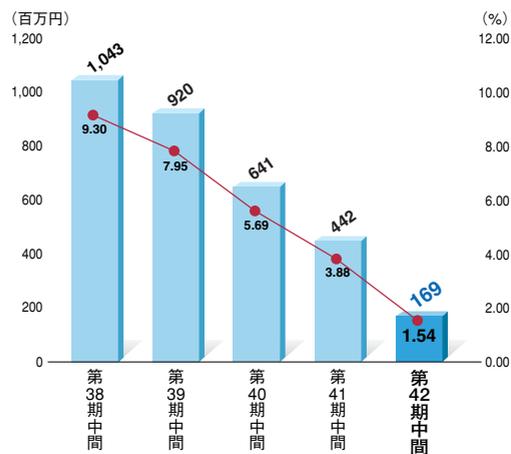
売上高は109億58百万円となりました。

利益面については、製造コストの低減、諸経費の削減等の諸施策により原価率の改善に努めましたが、材料費等の仕入れ価格の高騰の影響が予想以上に大きく、営業利益率、経常利益率ともに前年同期と比べ、低下しました。これらの結果、当中間連結期は、営業利益1億39百万円、経常利益1億69百万円、中間純利益47百万円となりました。

2 品目別の状況

当社グループ主力品目の可動間仕切は、売上高が前年同期比4.5%減少しました。固定間仕切については、学校間仕切および壁面化粧パネルが前年同期比増加し、軽量ドアは福祉・厚生施設向けに受注残が前年同期比より大きく増加しているものの、当中間連結期の売上高が3.7%減少し、固定間仕切全体では、前年同期比4.9%の減少となりました。

■ 経常利益
● 売上高経常利益率



トイレブースの売上高については、前年同期比7.0%増加し、移動間仕切については、前年同期比2.1%増加となりました。

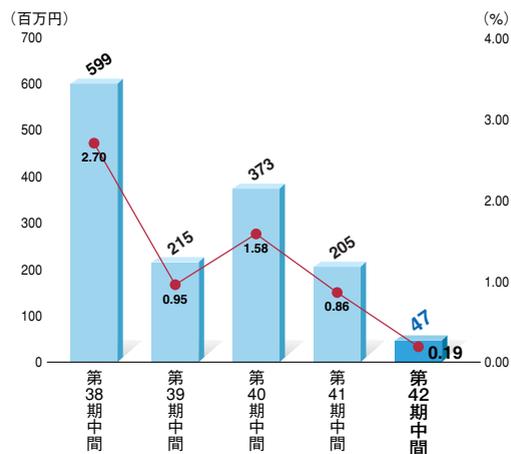
3 配当金の状況

配当金につきましては、経営方針により配当性向30%の達成を目標としております。当中間期の配当については、10月20日開催の取締役会におきまして、1株当たり18円00銭と決めさせていただきました。

4 通期の見通し

通期の国内経済につきましては、企業収益の減少とそれに伴う設備投資の弱含み、雇用情勢の悪化、個人消費の横ばい等、景気回復には厳しい状況が続いていくものと考えられます。

■ 中間純利益
● 自己資本利益率



営業の概況

加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動等、内外経済に与える影響を充分留意していく必要があるものと思われまます。

間仕切業界におきましては、公共投資の低調に加え、原材料価格の高騰、販売価格競争等、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況下において当社は、市場占有率アップによる業績向上を目指し、この数年来の営業拠点の新設による販売力の増強を図るとともに、新規開拓専任者を増員配置し、新規優良顧客の開拓を推進し、業績拡大を進めてまいります。コンベンションホールや展示館等の著名物件に数多く納入し、業界トップシェアを誇る大型移動壁「小松ランニング」の拡販に注力する一方、少子高齢化社会を背景に今後も引き続き需要増が見込まれる病院・医療施設向けへのトイレブース、軽量ドア製品の拡販、新製品開発に努めてまいります。

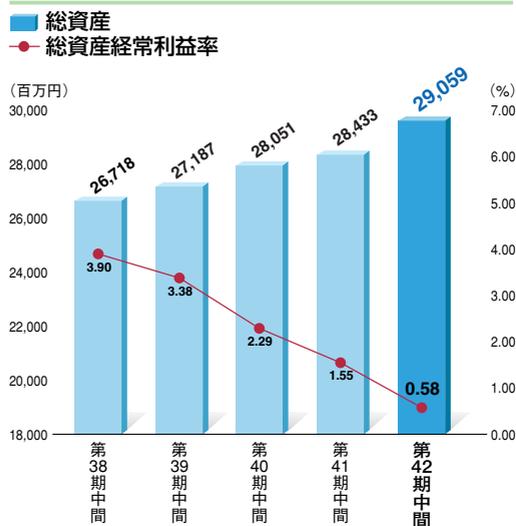
これらの状況と受注残高の消化等を考慮し、通期の業績

予想としましては、期初より売上高はほぼ計画どおりであることに加え、当中間連結期における受注残高は過去最高、前年同期比15.5%増加していることから、売上高は前期比6.6%増の287億60百万円、営業利益は前期比0.1%増の18億60百万円、経常利益は前期比0.8%増の19億円を見込み、当期純利益は、前期比0.6%増の11億円を見込んでおります。

2.財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産総額は290億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億24百万円の減少となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。



営業の概況

負債合計は、46億45百万円となり前連結会計年度末と比べて2億65百万円減少しました。主な要因は、買掛金の減少によるものであります。

純資産合計は、244億14百万円となり前連結会計年度末と比べて1億58百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少によるものであり、以上の結果、自己資本比率は84.0%となりました。

2 キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、46億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億62百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は、22億43百万円となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

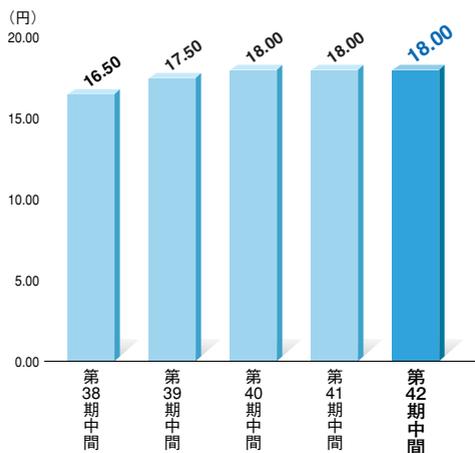
②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億94百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億62百万円あったこと等を反映したものであります。

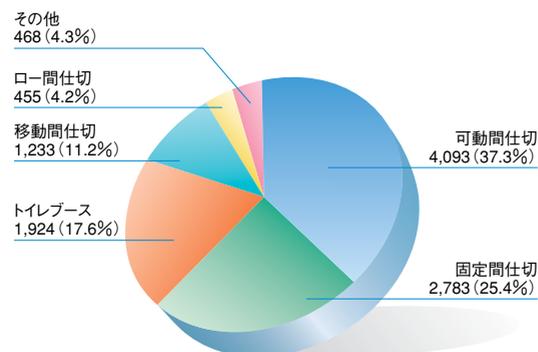
③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、1億86百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が1億90百万円あったこと等を反映したものであります。

1株当たり中間配当金



品目別売上高構成比 (単位:百万円)



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第40期中間 (平成18年9月30日現在)	第41期中間 (平成19年9月30日現在)	第42期中間 (平成20年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	17,100	16,483	17,470
現金及び預金	6,869	6,895	8,422
受取手形及び売掛金	6,302	6,203	5,862
棚卸資産	3,574	2,964	—
製 品	—	—	118
原 材 料	—	—	263
仕 掛 品	—	—	186
未 成 工 事	—	—	2,219
そ の 他	375	441	433
貸倒引当金	△ 22	△ 20	△ 36
固定資産	10,951	11,950	11,588
有形固定資産	6,542	7,415	7,009
建物及び構築物	5,155	5,434	5,417
土 地	2,963	3,835	3,636
そ の 他	3,554	3,594	3,581
減価償却累計額	△ 5,131	△ 5,450	△ 5,625
無形固定資産	318	290	331
投資その他の資産	4,089	4,243	4,247
保険積立金	2,928	2,919	3,064
そ の 他	1,245	1,413	1,264
貸倒引当金	△ 85	△ 89	△ 81
資 産 合 計	28,051	28,433	29,059

科 目	第40期中間 (平成18年9月30日現在)	第41期中間 (平成19年9月30日現在)	第42期中間 (平成20年9月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	3,806	3,337	3,323
買 掛 金	1,288	1,253	1,345
未払法人税等	307	67	71
賞与引当金	643	667	601
そ の 他	1,565	1,348	1,306
固定負債	694	1,171	1,321
退職給付引当金	690	840	972
役員退職慰労引当金	—	321	332
そ の 他	4	10	15
負 債 合 計	4,501	4,509	4,645
(純資産の部)			
株主資本	23,414	23,817	24,377
資 本 金	3,099	3,099	3,099
資 本 剰 余 金	3,031	3,031	3,031
利 益 剰 余 金	17,776	18,155	18,707
自 己 株 式	△ 492	△ 469	△ 461
評価・換算差額等	135	106	36
その他有価証券評価差額金	135	106	36
純 資 産 合 計	23,550	23,923	24,414
負債・純資産合計	28,051	28,433	29,059

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期中間(参考) (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	第41期中間(参考) (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	第42期中間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売 上 高	11,262	11,382	10,958
売 上 原 価	7,727	7,781	7,563
売 上 総 利 益	3,534	3,601	3,394
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,975	3,169	3,255
営 業 利 益	559	431	139
営 業 外 収 益	89	24	41
受 取 利 息	0	12	17
受 取 配 当 金	4	4	4
そ の 他	83	6	19
営 業 外 費 用	7	13	11
売 上 割 引	7	11	11
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	-	2	-
経 常 利 益	641	442	169
特 別 利 益	62	-	7
固 定 資 産 売 却 益	-	-	7
そ の 他	62	-	-
特 別 損 失	0	2	10
固 定 資 産 除 売 却 損	0	2	10
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	702	439	166
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	292	88	77
法 人 税 等 調 整 額	35	145	42
四 半 期 純 利 益	373	205	47

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、連結損益計算書ならびに連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、第2四半期累計期間の業績について掲載しております。前期以前の中間期の数値については、参考数値として掲載させていただいております。

連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第40期中間(参考) (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	第41期中間(参考) (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	第42期中間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	702	439	166
減価償却費	245	239	263
貸倒引当金の増減額(△:減少)	0	31	△ 8
受取利息及び受取配当金	△ 4	△ 17	△ 21
売上債権の増減額(△:増加)	1,676	3,090	2,944
棚卸資産の増減額(△:増加)	△ 1,040	△ 732	△ 736
仕入債務の増減額(△:減少)	△ 395	△ 495	△ 221
退職給付引当金の増減額(△:減少)	75	64	68
役員退職慰労引当金の増減額(△:減少)	—	△ 324	0
役員賞与の支払額	△ 65	—	—
その他(純額)	620	△ 94	△ 52
小 計	1,815	2,201	2,401
利息及び配当金の受取額	4	6	5
法人税等の支払額	△ 103	△ 812	△ 164
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,716	1,395	2,243
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 139	△ 1,163	△ 162
有形固定資産の売却による収入	—	0	38
無形固定資産の取得による支出	△ 43	△ 56	△ 82
投資有価証券の取得による支出	△ 20	△ 0	—
投資有価証券の売却による収入	—	—	10
その他(純額)	0	△ 34	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 202	△ 1,254	△ 194
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
自己株式の売却による収入	9	5	4
配当金の支払額	△ 184	△ 190	△ 190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 175	△ 184	△ 186
現金及び現金同等物の増減額	1,338	△ 43	1,862
現金及び現金同等物の期首残高	5,531	3,638	2,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,869	3,595	4,622

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、連結損益計算書ならびに連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、第2四半期累計期間の業績について掲載しております。前期以前の中間期の数値については、参考数値として掲載させていただいております。

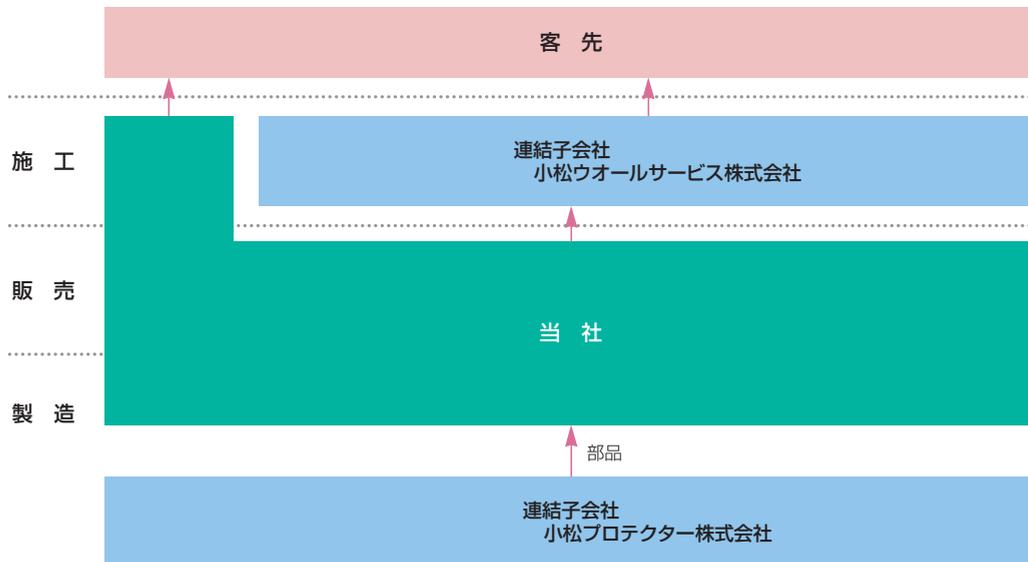
企業集団の状況

当社は、可動間仕切、固定間仕切、トイレブース、移動間仕切、ロー間仕切等の製造および販売を主要な事業とする会社で、当社を中核として周辺に以下の子会社を擁して、企業集団としての事業を展開しております。

連結子会社の状況

会社名	住所	資本金(千円)	出資比率(%)	主な事業の内容
小松ウオールサービス株式会社	大阪府吹田市	10,000	100.0	間仕切の施工
小松プロテクター株式会社	石川県小松市	30,000	100.0	間仕切の外注加工

事業の系統図は次のとおりであります。

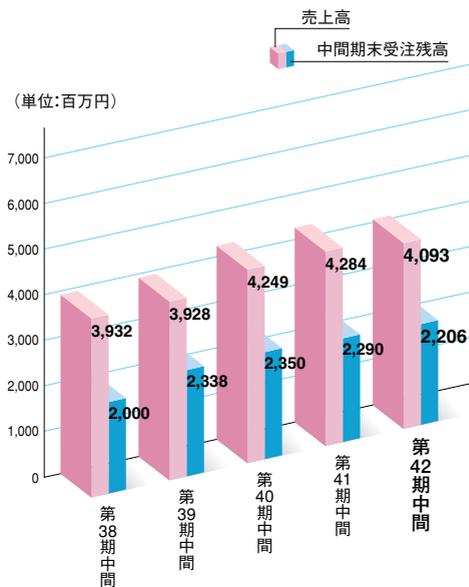


可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。



マイティ

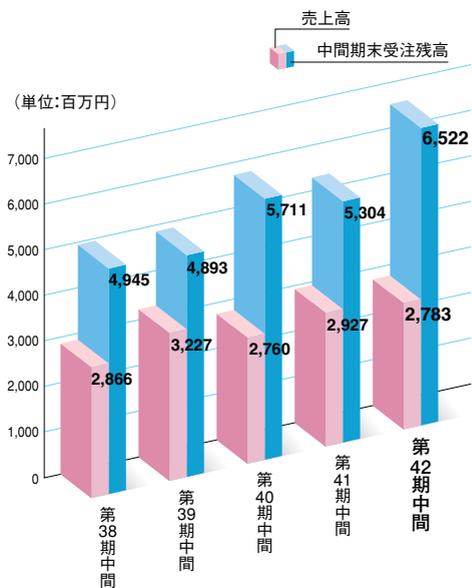


固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切であります。



カムドア



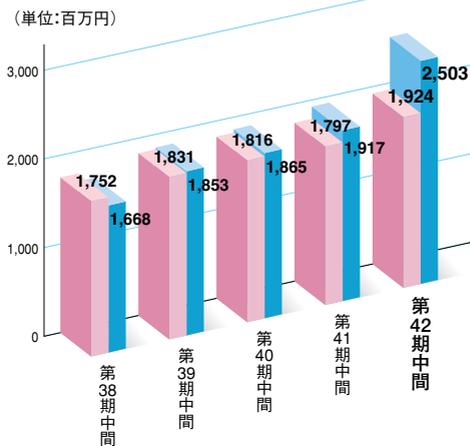
トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。



サニティブース

売上高
中間期末受注残高



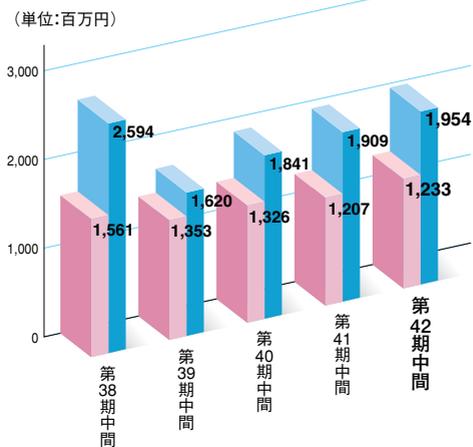
移動間仕切

ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

売上高
中間期末受注残高



品目別情報

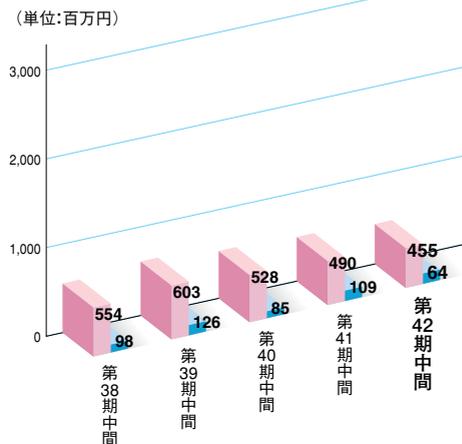
□一貫仕切

主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



モールシステム

売上高
中間期末受注残高



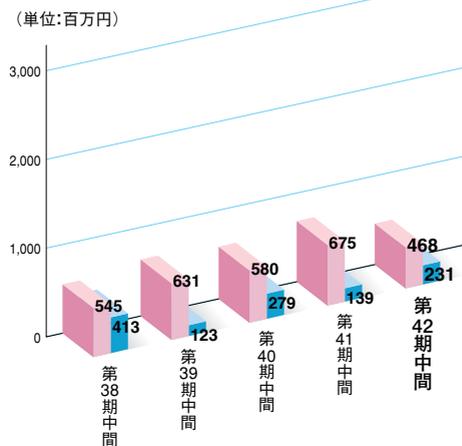
その他

主に、ファンコイルカバー等の金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



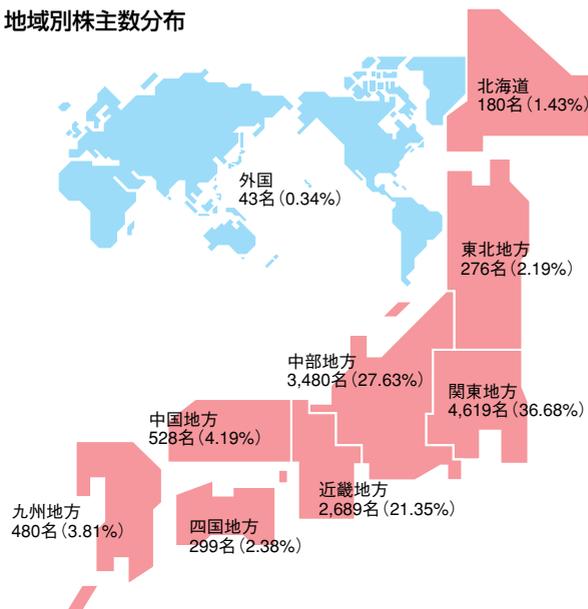
サーフスウォール

売上高
中間期末受注残高



発行可能株式総数……………25,000,000株
 発行済株式の総数……………10,903,240株
 単元株式数……………100株
 株主数……………12,594名
 株主1人当たり平均持株数……………866株

地域別株主数分布

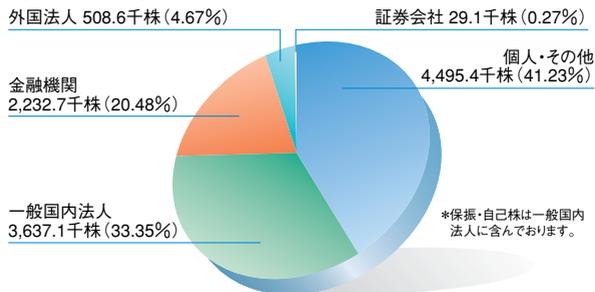


発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する株主

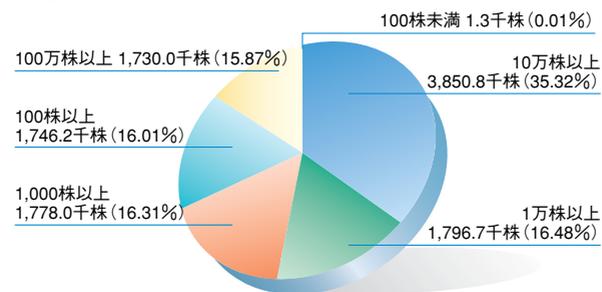
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社 アネシス	1,730,000	16.32

(注) 出資比率は自己株式(304,964株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



所有株数別株式数分布



商号 小松ウォール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

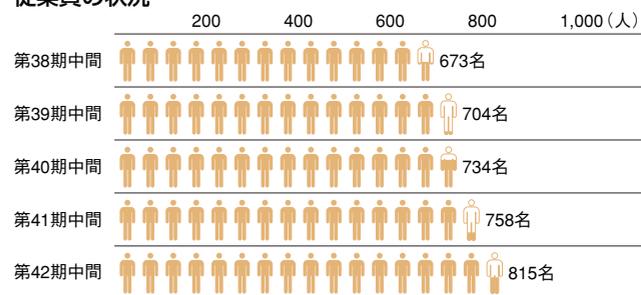
設立 昭和43年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、
販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 815名
(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計18名)は含まれておりません。

従業員の状況



代表取締役社長	加納裕
専務取締役	牛島覚
常務取締役	吉岡哲
常務取締役	片山光
常務取締役	山本孝
取締役	木戸義
取締役	鈴木裕
取締役	中下修
取締役	万仲秀
取締役	和田雅
取締役	熊田雅
取締役	平田保
取締役	根上清
取締役	本彦義
取締役	武居秀
取締役	中村猛
常勤監査役	和田良
監査役	佐久間宜
監査役	林他
監査役	山口喜
	裕
	雄
	良
	三
	朗
	文
	二
	和
	裕
	巳
	次
	清
	夫
	雄
	猛
	一
	晷
	男
	喜
	他
	喜
	男
	徹



本社社屋

事業所

本社・工場

本社	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3131(代)
第一工場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目6	☎(0761)21-7161(代)
第二工場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3374(代)
第三工場	〒923-8643	小松市工業団地二丁目16	☎(0761)23-5191(代)

支店・営業所

札幌支店	〒063-0850	札幌市西区八軒十条西10丁目1-30	☎(011)611-5122(代)
仙台支店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2181(代)
新潟支店	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野字中沼314	☎(025)283-1595(代)
東京支店	〒102-0082	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町3F	☎(03)3263-2351(代)
東京第一支店	〒102-0082	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町3F	☎(03)3263-2951(代)
横浜支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜三丁目18-14 住生新横浜第2ビル8F	☎(045)474-3733(代)
長野支店	〒399-0034	松本市野溝東一丁目16-22	☎(0263)26-8731(代)
名古屋支店	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6021(代)
京都支店	〒600-8357	京都市下京区五条通堀川西入柿本町579 五条堀川ビル1F	☎(075)352-4711(代)
大阪支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル7F	☎(06)6241-5321(代)
大阪第一支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル8F	☎(06)6245-6871(代)
広島支店	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-8890(代)
四国支店	〒761-8071	高松市伏石町2140-3	☎(087)866-1211(代)
福岡支店	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8581(代)
青森営業所	〒030-0811	青森市青柳一丁目7-4	☎(017)732-3121(代)
盛岡営業所	〒020-0816	盛岡市中野一丁目17-3	☎(019)606-1631(代)
福島営業所	〒963-0111	郡山市安積町荒井字大久保28-1	☎(024)946-0601(代)
前橋営業所	〒371-0831	前橋市小相木町36-1	☎(027)253-0221(代)
宇都宮営業所	〒321-0924	宇都宮市下栗一丁目23-21	☎(028)633-0721(代)
水戸営業所	〒310-0046	水戸市曙町10-1	☎(029)251-0601(代)
さいたま営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048)651-5321(代)
千葉営業所	〒262-0013	千葉市花見川区横橋町1621-7	☎(043)257-5511(代)
東京OS営業所	〒102-0082	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町3F	☎(03)3263-2961(代)
東京第二営業所	〒102-0082	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町3F	☎(03)3263-5571(代)
八王子営業所	〒192-0024	八王子市宇津木町593-1	☎(042)639-7711(代)
川崎営業所	〒212-0053	川崎市幸区下平間130 サンガーレンビル1F	☎(044)543-6851(代)
長野営業所	〒381-0026	長野市松岡二丁目3-78	☎(026)222-2466(代)
松本営業所	〒399-0034	松本市野溝東一丁目16-22	☎(0263)26-8731(代)
浜松営業所	〒435-0036	浜松市南区渡瀬町304-1	☎(053)411-8131(代)
岐阜営業所	〒500-8357	岐阜市六条大溝一丁目12-9	☎(058)268-7101(代)
三重営業所	〒514-0832	津市南中央30-19	☎(059)222-3531(代)
和歌山営業所	〒640-8341	和歌山市黒田字門田158-5	☎(073)473-8171(代)
奈良営業所	〒630-8113	奈良市法蓮町986-2	☎(0742)26-5751(代)
滋賀営業所	〒520-2361	野洲市北野一丁目5-10 リ・ブレイスⅡ3F	☎(077)518-0701(代)
大阪第二営業所	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル7F	☎(06)6241-8791(代)
神戸営業所	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078)856-8181(代)
岡山営業所	〒700-0952	岡山市平田101-102	☎(086)243-7581(代)
高松営業所	〒761-8071	高松市伏石町2140-3	☎(087)866-1211(代)
松山営業所	〒791-8041	松山市北吉田町1006-32	☎(089)971-9941(代)
北九州営業所	〒802-0979	北九州市小倉南区徳力新町二丁目9-20	☎(093)965-2311(代)
熊本営業所	〒861-8005	熊本市龍田陣内三丁目12-1	☎(096)337-1711(代)
宮崎営業所	〒880-0032	宮崎市霧島五丁目43-1	☎(0985)24-0551(代)
鹿児島営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-132	☎(099)260-2601(代)

新製品紹介

●天井付間仕切ユニット（平成20年1月発売開始）

軽量で強いフラッシュパネルの梁の採用により、最大間口が8m超まで対応できる天井付のスチール間仕切ユニット製品です。

耐震面においては、震度6強（阪神大震災820gal）の地震にも耐えることのできる設計となっております。



●TB-HD（平成20年8月発売開始）

扉に吊り戸を採用したことにより、開きしろがなくゆったりとしたトイレ空間を提供することのできるトイレブース製品です。

扉の開閉については、自閉機構が内蔵されており、扉を開けた後は静かに自閉いたします。



株主優待制度のお知らせ

●贈呈基準 期末日（3月末日）現在100株（1単元）以上保有の株主様に、一律2,000円分の当社オリジナルデザイン図書カード、中間期末日（9月末日）現在100株（1単元）以上保有の株主様に、一律1,000円分の当社オリジナルデザインQUOカードを贈呈いたします。

●贈呈時期 6月下旬（3月末株主）および11月下旬（9月末株主）に配当金支払通知等とともに送りいたします。

株式についてのご案内（株主メモ）

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部	
株主確定の基準日	定時株主総会、期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
定時株主総会	6月	
単元株式数	100株	
公告方法	日本経済新聞 なお、決算情報につきましては、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。 (ホームページ http://www.komatsuwall.co.jp/ir/koukoku.html)	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
(郵便物送付先) 電話お問い合わせ先	【平成20年12月30日まで】 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324	【平成21年1月5日より】 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	株主様からの各種の請求、届出等は、原則として株主様が口座を開設されている証券会社等を通じて請求・届出いただくこととなり、株主名簿管理人の取次所では受付することができませんのでご注意ください。

※特別口座に記録された株主様からの単元未満株式の買取請求、買増請求、振替請求等は、特別口座管理機関としてのみずほ信託銀行の支店で取次をいたします。

○お知らせ

平成21年1月より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。詳しくは、上記 ☎0120-288-324 にお問い合わせください。なお、証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。未払配当金については、上記 ☎0120-288-324 にお問い合わせください。

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地一丁目72番地

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

